THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st January 2016 and 8th May 2016)

カリフォルニアクローム【126】とウィンクス【126】が第3回ロンジンワールドベストレースホースランキングにおいて引き続きトップタイで並んだが、トップ10については新たに多数の馬が加わることとなった。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings			
Leading Horses			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	CALIFORNIA CHROME (USA)	126	USA
1	WINX (AUS)	126	AUS
3	MAURICE (JPN)	124	JPN
3	NYQUIST (USA)	124	USA
3	POSTPONED (IRE)	124	GB
3	WERTHER (NZ)	124	HK

日本の昨年の年度代表馬モーリス【124】は、香港のチャンピオンズマイル(G1)を2馬身差で完勝し、2016年初戦を鮮やかに制した。これは同馬にとって昨年12月の香港マイル(G1)以来の出走であったが、この勝利により現在7連勝中である。

この1ヶ月の間に香港で目覚ましい活躍を見せたのは**モーリス**だけではない。**ワーザー【124】**はミリタリーアタックに4馬身1/2差をつけ、クイーンエリザベスII世カップ(G1)を制した。同馬は、このレースの前には香港ダービー2016(香港G1)を制している。

一方北米では、無敗の**ナイキスト【124】**がケンタッキーダービー(G1)を1馬身1/4差で制し、デビュー以来の連勝を伸ばすとともに、レーティングを118ポンドから124ポンドへ大きく上げることとなった。同馬は今シーズンこの他にも、フロリダダービー(G1)とサンヴィセンテステークス(G2)を制しており、現在のところ8戦8勝という完ぺきな成績を残している。ケンタッキーダービーとブリーダーズカップジュベナイル(G1)の両競走を制したのは、**ストリートセンス**以来で、史上2頭目である。

ケンタッキーダービーで2着となった**エグザジャレイター【121】**はその際のパフォーマンスが評価され、この順位となった。同馬はサンタアニタダービー(G1)を6馬身1/4差で制した後、このレースに臨んでいた。

また、ケンタッキーダービー当日に施行された競走で鮮やかなパフォーマンスを見せたのが**テピン【121】**で、チャーチルディスタフターフマイルステークス(G2)を快勝している。4月にはジェニーワイリーステークス(G1)を制し、今年4戦4勝であるが、今後はロイヤルアスコットのクイーンアンステークス(G1)を目指す予定である。同馬は、昨年10月のブリーダーズカップマイル(G1)を含め、現在6連勝中である。

トップ10入りは果たせなかったものの、**エフィネックス【120】**や**ファウンド【120】**、**イトウ【120】**といったランキングの常連に加え、**ガリレオゴールド【120】**や**マインディング【120】**といったこの先楽しみな3歳馬もランクインしている。

ブリーダーズカップクラシック(G1)において、昨年のワールドベストレースホースに輝いた**アメリカンファラオ**の2着となった**エフィネックス**は、4月のオークローンハンデキャップ(G2)を制した一方、昨年のブリーダーズカップターフ(G1)の優勝馬である**ファウンド**は、**ムーアズブリッジ**

ステークス(G3)で今季初勝利をあげている。また、ドイツ調教馬イトウはゲルリンク賞(G2)で今シーズン初勝利をあげた。

またイギリスでは、ガリレオゴールドが今季初戦となった英 2000 ギニー(G1)を、マッサートに 1 馬身 1/2 差をつけ快勝した。その翌日に行われた英 1000 ギニー(G1)では、マインディングがバリードイルに 3 馬身 1/2 差をつけ制している。